

洛友会会報

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
〒606-8202
京都市左京区田中大塚町49
075-701-3164

「情報」と「通信」の融合

企業通信事業の動向

東京支部長 川本 幸雄 (昭34年卒)



インターネットに代表されるIP通信技術が社会と産業、更には家庭に与えるインパクトは計り知れないものがあり、中広い議論がなされている所である。京都大学や洛友会会員各位のこの分野における御活躍・御貢献もめざましいものがあり、心より敬意を表す次第である。

私は、企業通信事業を担っており、ここでは産業界の立場で、経営上の課題について御紹介したい。

1. 通信機事業の全体市場

通信機事業は技術別、製品別、市場別に分けることが出来るが、

業界動向を分析し易い市場セグメント別に見ると(1)通信事業者向け、(2)官公庁・一般企業向け、(3)個人・家庭向けに大別出来る。いづれの分野も光通信技術、ワイヤレス技術、IP技術のインパクトを受け急展開を見せているが、(2)の企業通信分野は、特にIP技術のインパクトが大きい。企業におけるIT革命がIP技術を軸に進んでいるからである。

2. 企業通信システムの動向

企業通信は一般に、本社・工場・営業所など地域的に分散する事業所間の広域通信を行うWANと、同一事業所内の構内ネットワークであるLANに分けられる。これまで、基本的には、電話・FAX・音声メールといった音声系ネットワークとコンピュータ間のデータネットワークは併設されていた。WANでは、ATMなど時分割多重通信で回線の共用が進ん

でいたが、構内ネットワークでは、音声系は電話網、データ系はLANという様に物理的にも論理的にも別個のネットワークが用いられて来た。

しかし、インターネットの爆発的拡大で、通信事業者の投資がデータ系ネットワークに重点化され、IP通信のためのバックボーンの光技術による高速・大容量化が進み、又アクセス系ネットワークもアクセスノードに高性能・低価格のIPネットワークサービスが出現している。

企業ユーザー側も、インターネット・イントラネットの高度利用が進み、社内・社外とのWEBベースでの通信は、業務の効率化と戦略的利用に欠かせないものになっていて、急激なトラヒック増大に対してIPネットワーク利用による通信コスト削減は急務になってきている。こうした背景のなか、現在注目すべき下記の技術が出現している。

2.1 事業所間広域ネットワーク(WAN)のIP化

現在、デジタル化された音声データをIPパケットで伝送するVoIP技術が注目されている。一般的には、伝送効率を高めるため音声圧縮符号化技術を用いる。これを内蔵したIPゲートウェイが製品化され、普及しつつある。

IPゲートウェイは、(1)PBXなどの音声信号をVoIP技術に

よって音声パケット化する機能、(2)PBXからの発信要求などの呼処理情報をVoIPで使用出来るプロトコルに変換する呼処理機能で構成されている。IPゲートウェイによって、音声系ネットワークをIPネットワークに接続可能になるが、IPネットワークはパケット通信であるので、遅延や揺らぎ、パケットの廃棄など音声劣化を引き起す要因が多い。したがって通信品質確保のためには、

- (1) 音声伝送のリアルタイム性を確保する低遅延処理機能
- (2) 伝送路上の遅延により発生するエコーをキャンセルする機能
- (3) パケット到達時間の揺らぎを吸収するジッタ吸収機能
- (4) 音声端末間の音声レベルを調整する機能

などが求められる。

近年、これらのリアルタイム性や通話品質の保証をサポートするIPパケットの優先制御や帯域確保の技術開発と標準化が進んでいる。これにより、VoIPによる音声・データの統合が実用上可能となつて来た。

2.2 事業所内構内ネットワーク(LAN)のIP化

データ系ネットワークは構内LANを中心に構成され、WANにより、LAN間接続されている。LANに接続される情報機器間の通信がIPパケットによるものが増え、又WANもIP化されて来

る所から、LAN上のプロトコルをIPパケットで行うのが効率的になって来ている。しかし、現在、電話・FAX・音声メールといった音声系は、電話回線に依つている所が大多数であり、従つて構内には、LAN網と電話網が別個に配線され管理されているのが通常である。WANと同様に、VoIP技術で、音声信号をIPパケット化し、LAN上に相乗りさせれば、電話網の配線工事、保守運用も削減することが出来る。

更にIPプロトコルによる業務アプリケーションやWEBに代表されるインターネットサービスにおいてデータ処理と同期して音声信号を発信・受信出来るなど同時に確保出来る。例えば、WEB画面を操作しながら、同期して音声応答が出来るなどコミュニケーションの質的向上が計れる。そうしたことから、LAN上の音声とデータをIP統合するIP-PBXが注目を集めている。IP-PBXは、

- (1) VoIPを内蔵し、LAN上にIPパケットを送受する機能
- (2) 電話番号とIPアドレスを交換する機能
- (3) PBXの電話サービスと同等のサービス処理機能
- (4) LANのネットワーク管理・保守機能

等を有し、近い将来全面ワイヤレス化に備えた無線基地局統合機能

も有している。

3. 「情報」と「通信」の融合—
事業構造の変革

こうしたユーザーニーズの動向と技術動向に対応する事業者の課題は、「情報」と「通信」の融合である。「情報」系事業者にとってIP通信技術は欠かせないし、「通信」系事業者にとってIPデータ処理技術は不可欠である。両者を統合したシステムとして提供し、始めて顧客満足度が得られる。海外の大手通信機メーカーの新興ネットワーク企業の買収や情報系企業の通信メーカーの吸収はその潮流を現している。国内においても、大手企業の通信・情報部門の統合化や分社化・併合化が進んでいる。

これは、端的に、企業通信IPネットワークが情報システムと通信システムの共通プラットフォームになりつつあることを示している。21世紀の次世代インターネット技術の開発が進められており、代表的なIPv6と呼ばれる世界規格が実用化された時、世界中の全てのデバイスが接続されて、相互にIP通信が出来ることとされている。

その時、業界はどんな対応が迫られるのか予想もつかないが、今起っている事業統合の流れが、顧客への一元的な対応の必要性から出ている様に、その時代においても顧客対応が決め手になるものと考えている。

教室だより

平成12年度電気電子工学系就職状況

IP: Internet Protocol
VoIP: Voice Over IP

電気電子工学科長 吉田 進
電気工学専攻長 奥村 浩士
電子物性工学専攻長 鈴木 実
電子物性工学専攻 松波 弘之
(就職担当)

現在、大学院は工学研究科、情報学研究科、エネルギー科学研究科の三つに分かれ、それぞれの研究科で就職の世話の仕方が違ってきますので、統一的な傾向を論じることは困難であります。その中で、工学研究科の電気工学専攻と電子物性工学専攻は共通で世話をしていますので、平成12年度就職関連の世話をした担当者から気の付いたことを報告させていただきます。4回生は電気電子工学科に所属しますので、学科長が対応しました。

例年、就職関連は学科長、専攻長が世話をしてきましたが、平成12年度は、2年先に予定されています電気工学・電子物性工学専攻の桂キャンパス移転の設計関連で専攻長が多忙とのこと、例外的な措置として就職担当を置くことになりました。

数多くの会社から求人依頼が「推薦」の形で届いています。これは、産業の至る所で電気・電子工学出身者への期待が大きいことを示しています。大学側としては、社会の要請に応える学生を輩出させるように努力する必要があります。別表のように各社への就職が決まっています。やや詳細を述べますと、傾向としては総合電気メーカー離れが目立ちます(従来、通信工学専攻を含めた3専攻が連携して就職の世話をしていました。頃は、総合電気メーカーへの希望が多く、それを整理することが教室主任の大きな役割りでありました)。家電と情報がセットになっている会社への希望が多いようです。IT関連であるとの意識が強いのでありましようか、通信会社への就職希望が電気、電子物性工学専攻において目立ちました。

多くの企業から推薦の依頼がありました。特に、関連企業からは、「ぜひ、電気・電子工学関係の専門を修めた学生の推薦をお願いしたい」とのお話が多くありました。しかしながら、電気プロパーの中では、企業側の姿勢も変わってきています。以前は、「ぜひ京都大学の電気系卒業予定の学生を採用したいので、推薦をよろしく」が基本でありました。ぼつぼつではありますが、「推薦をして貰うが、

採否を決定するのはこちらですから・・・」との姿勢が見えるようになってきています。入社試験における英語の重要性が高まってきたことも従来には見られなかった特徴です。

今回、修士卒業予定者の採用試験では、「京大卒には将来のリーダーシップを期待しているので、あの決められたレベル以上であつて

欲しい」とのことで、面接での評価により、内定を貰えなかったケースもありました。学部4回生を修えた段階で就職を希望する学生は130人の2割程度であるにもかかわらず、大学院入試直後(9月期)を含めて多数の求人を頂きました。ありがたいことです。ただ、4回生になり卒業研究の手ほどきを受け始めた時点ということ

平成12年度卒業生進学就職状況

工学研究科(電気工学、電子物性工学専攻)、情報学研究科(通信情報、知能情報、システム科学専攻) エネルギー科学研究科(エネルギー社会・環境科学、エネルギー基礎科学、エネルギー応用科学) 電気電子工学科、

		進学・就職先	
修了、卒業生数	修士	学部	
進学	103	146	
学	5		京都大学博士課程工学研究科電気系
	7		京都大学博士課程情報学研究科
	1		京都大学博士課程エネルギー科学研究科
	2		他大学博士課程
		55	京都大学修士課程工学研究科電気系
		41	京都大学修士課程情報学研究科
		15	京都大学修士課程エネルギー科学研究科
官公庁等	2		特許庁、通信総合研究所
	49	9	沖電気、コンパック、三洋電機、シャープ、ソニー、ティアック、東芝、日新電機、アイ・ピー・エム、NEC、パイオニア、日立製作所、日立電線、ファナック、富士通、古河電工、松下電産、松下電工、松下通信、三菱電機、ローム
通信	10	2	KDDI、NTTコミュニケーションウェア、NTTドコモ、NTTドコモ関西、日本テレコム、NTT持ち株会社
	7	2	関西電力、九州電力、四国電力、中部電力、北陸電力
電力・ガス	9	7	旭化成、オリンパス光学、キヤノン、京都製作所、ダイハツ、ティアック、デンソー、トヨタ自工、凸版印刷、フジクラ、フジテック、ミノルタ、村田製作所、村田機械
	2		東海旅客鉄道
機械・自動車学	3		NHK、毎日放送、朝日新聞
	2	2	ゆめみ、インターナショナルネットワークセキュリティ、松下電器情報システム
放送・新聞	3	4	ゴールドマンサックス、大和証券、伊藤忠商事、住友商事、メリルリンチ日本証券、三菱総合研究所、青山特許事務所
	2		
金融・商社等	3	4	
未定・研究生・帰国	1	6	

もあって、専門知識を問う厳しい面接にはとまどった学生もいました。

推薦制のみ、自由応募だけ、推薦と自由応募方式の併用など、各社の特徴が出てきていますが、総じて、年間を通して採用する会社が増え、ある限られた時期に採用枠をまとめて埋めるとの姿勢が変わってきているようです。つまり、人物本位で採用し、充足できなければ次の機会を待つとの姿勢が見えてきているともいえましょう。

学生には次のように伝えていきます。「就職先を考えるこの時期は、自己を見つめるよい機会である。これまでの、答案に書いた結果を教師が採点し、その結果を元に進路を決めてきた人が多いと思う。しかし、社会では、自己自身の評価、自己の考えの表現が尺度になる。その意味で、この機会に自分をじっくり見つめよう。」

教官の異動

平成12年10月1日
浅野 卓助手 (電子物性工学専攻野田研) 採用

池田克夫教授退官記念パーティーのお知らせ

本学池田克夫教授(電子工学科昭和35年卒)におかれましては、平成13年3月31日付けで、停年退官されました。左記の通り退官記念パーティーがとり行われますので、御案内いたします。

日時 平成13年5月26日(土) 12:00~15:00
場所 京都ホテル 〒604-8558 京都市中京区河原町御池
TEL 075-211-5111 WWW http://www.gyotohotel.co.jp/oke/index-j.html

主催 池田克夫教授退官記念事業会 www.http://ikedakatsu.org/
連絡先 京都大学大学院情報科学研究科内(工学部10号館) 藤川賢治 TEL 075-753-5387
E-mail taikan@ikedakatsu.org

平成12年11月1日付け
大村善治教授(宙空電波科学研究所センター) 助教授より昇任

平成13年1月1日付け
長崎百伸助教授(エネルギー理工学研究所) 助手より昇任

平成13年3月1日付け
杉山和彦助教授(電子物性工学専攻北野研) 産業技術総合研究所計量研究所より転任

平成13年4月1日付け
萩原朋道教授(電気工学専攻) 助教授より昇任

藤田静雄助教授(電子物性工学専攻) 国際融合創造センター教授に昇任

小林和淑助教授(通信情報システム専攻小野寺研) 助手より昇任

黒橋禎夫講師(知能情報学専攻言語メディア研) 東京大学情報理工学系研究科助教授に昇任

水田 忍助手(システム科学専攻松田研) 総合情報メディアセンターより

橋本昌宣助手(通信情報システム専攻小野寺研) 採用

会員寄稿

戦中派の学生生活(X)

会長 近藤文治(昭18年卒)

(三) 原子爆弾と終戦

遂に運命の日を迎えた。8月6日朝、B29爆撃機3機が広島上空に侵入、8時15分、爆撃機の投じた1個の爆弾によって、大音響と共にマグネシウム光に紛う一大閃光が全市を覆い、高温の爆風によって一瞬にして20万人の尊い人命が失われ、市の中心部の建物は壊滅し、全市各所に火災が発生した。B29が離脱した後は、茸雲が上空に立ち昇り、全市が巨大な黒雲に覆われ暗黒と化した。続いて8月10日、同じ爆弾が長崎に投ぜられ数万人の犠牲者を出した。これが原子爆弾であることを、関係筋はアメリカの放送によりすぐ知った筈である。しかし爆弾投下直後に特殊爆弾と発表し、恐るべき爆弾の威力や被害の様子は、厳重な報道管制により終戦まで公表されなかった。ただ爆弾の威力は言語に絶するだけ発表された。この爆弾の威力に驚いた政府は、遂に無条件降伏を決意し、8月15日降伏、終戦となった。

教室内では職員として取り扱われていた。昭和20年8月15日、研究室の全員に対して、「本日正午、天皇陛下の放送があるから15分前に中央実験室に集合すること」との通知があった。当時2、3回生は動員で学外にあり、1回生だけが学内で授業を受けていた。学生としては私が一番年長であったのとして、学生が一番年長であったの、学生の防衛隊の隊長ということなっていた。中央実験室には古ぼけたラジオがセットされていた。集まったのは学生や研究室員合わせて70人位だったろうか。中には2、3の若い助教の先生の顔も見えた。天皇陛下が直接全国民に勧告を賜るとは一体何事なのか。前代未聞のことである。戦況の現状を考えると本土決戦は明日にも始まるうとしている。この期に及んで、陛下ご自身が激励の言葉を賜ると言うことなのか、あるいは、先日、アメリカ軍がわが家の付近に撒いたビラにあった、日本政府に降伏を勧告しているとのニュースが頭に浮かんだ。あるいは・・・。

「異常な緊張の内に時間が近づいた。教官の一人が「おい近藤君、君が号令を掛け給え」

「ハイ！整列、気を付け！」

放送が始まった。全身の神経を集中し一言も聞き漏らさまいと耳をそばだてた。ところが、ラジオが悪いのかマイクが悪いのか言葉が不明瞭で、聞き取れない。(後で判ったことだが、天皇の言葉は録音されたもので、当時の録音は蠟板を使っていたのと、戦争継続玉砕を叫ぶ若手軍人の阻止行動から守るため夏季高温の密室に保管し、蠟板が痛んだためであることを知った。)

「惨害のおよぶ所真に測るべからざるに至る・・・吾が民族の滅亡を招来するのみならず・・・陣に死し戦域に殉じ・・・その遺族に思いを致せば五内為に裂く・・・堪え難きを堪え、忍び難きを忍び・・・」と不明瞭なお言葉が続いた。お言葉の調子からは降伏を宣言されたと思えるが、降伏だとか敗戦と言った言葉は聞かえなかつし、「堪え難きを堪え、忍び難きを忍んで、今後一層努力せよ」と戦争継続を宣言して国民を激励されたのか、はつきりしないままお言葉は終わった。

「解散!!」

とは言ったものの、後は互いに「天皇陛下は戦争は止めると言われたんだよね。」

「そうと違うか。」

と甚だ自信の無い問答が続いた。早速研究室に帰って続きの放送を聞いて、やっと日本がポツダム宣言を受け入れ無条件降伏したことを確認した。天皇陛下のお声で終戦の詔書が渙発されたのである。

「日本が負けた。」

「元寇の役以来外国には負け

たことがなかった日本が初めて負けた。」

「我々の時代に輝かしい日本の歴史に汚点を残すことになった。」

「子孫に対し申し訳ないことになった。」と、敗戦の忌々しさにほぞを噛む思いがするのであった。思わず悔し涙が溢れそうになった。

しかし、反面、

「命が助かった。」

「内地決戦が始まれば命はないと諦めていたが、これで生き永らえることができる。」と、死の淵からの生還の喜びと安堵感が、身体の中からじみ出すのを感じた。しかし、その喜びも安堵感も、これから先、日本はどうなるのか？天皇陛下は？大学は？そして、私はどんな生き方ができるのか？敗戦によって我々はどうなる取扱を受けるのか？そうした不安に安堵感はずちまち掻き消されるのであった。自分のことはさて置いて、日本すなわち一億の日本国民の将来を連合国の手に完全に委ねる無条件降伏と言う厳しい現実を考えると、自分の意志ではどうしようもなく、呆然自失、日本が過去に築き上げた全てのものが、大きな音を立てて崩れ落ちるのを感じた。

何れ連合軍が日本に上陸し、日本はその軍政下に置かれることは明らかだ。その時我々はどうなるのだろうか。研究を通じて軍に協

力したことで問われることはないにしても、今後、研究は禁止されるかも知れない。あれを思いこれを考えても、何一つ明確な答えがかりであった。戦争中も将来を考えると先の見透しは全くなく、あるとすれば死が待っているとということだけだった。こうした環境の中で長い間鍛えられてきた我々は、不安から脱出する唯一つの逃げ道は、「なるようにしかならない。考えてもしょうがない。くよくよししない。その時点々々で最善を尽くす。」と言うことであった。将来に対しては意識的に目を潰ぶることによって、僅かに心の平静を保っていた。

(次号につづく)

随想

田辺 輝雄(昭18年卒)

鳴き交す声も艶めき嵐山に

ゆりかもめ舞ふ初春の空

仰ぎ見る白鷺城には青春の

想ひを綴る花吹雪舞ふ

新緑に映えて色濃き根上の松は

大地を然と掴みて(兼六園)

紫の色鮮やかに咲き誇る

水辺のあやめ影を写して

久々に訪ねし園の根上の松は

緑に映えて色濃し(兼六園)

爛漫の桜を舞台に都踊の

だらりの帯や小鼓の音

かんざしのきらめく帯に桜吹雪の

幕は上りし京舞子の列

雪吊は玄人はだしよ北陸に

幾年住みしや山茶花の宿

湯煙の窓をひひて見はるかす

礪波の山並夏鮮やかに

吾が背戸の夾竹桃の花咲き乱れ

待ち焦れし夏今此処に在り

田植終えし稲田数多続きけり

緑増す日を待ち焦れつつ

写真撮る景色求めて秋声の

文学碑前に蟬時雨きく

山上の駅に着きけし見遥かす

医王の山並裏手より観る

死ぬる迄現役志願に見込あり

零細企業も景気回復

吾が命余白まだ在り死ぬる迄

現役志願に望み託せり

亡き母の好みて賞でし根上の松は

大地を然と掴みて(兼六園)

吾が生れは一九二〇年と覚えてし

二〇世紀も終りとやなる

遙々と紅葉の道を恙なく

帰り着きしの知らせ嬉しき

遺送の釈迦来迎の阿弥陀仏に

現世未来の御利益願ひし

魂の永遠信じて今日もまた

ひと日送りし澄み渡る空

照明用ランプの最近の話題

高須 啓次(昭43年卒)

去る3月6日から4日間、東京のビッグサイトでライティングフェア2001が開催された。「人

に地球に「21世紀のあかり」をメインテーマに、国内外の照明関連メーカー約90社により照明器具、ランプ、関連製品等が展示された。ここでは見学した中から最近話題のランプについていくつか紹介する。

我が国では全消費電力のうち照明用電力は約12%を占めており、今回の見学を通して省エネ、地球環境保護の観点から、高効率・長寿命をキーワードとするランプ開発が加速している感を強くした。

無電極蛍光ランプ

放電管に高周波電界を印加すると、放電管内の水銀原子が励起され紫外線を放出し、放電管内面の蛍光体により可視光に変換されるランプである。電極が無いため、電極エミッタの消耗による不点がなくするので長寿命となる。今回の展示では寿命6万時間のものが発表されていた(1日10時間点灯で16年間使用可能)。メンテナ

スの困難な高所やトンネル等の照明に適している。また高出力化が進み1万ルーメンを超えるものも商品化され、高圧放電ランプの領域である道路灯等の一般照明への採用も提案されていた。

水銀レス平面型蛍光ランプ

環境保護の観点から蛍光ランプの無水銀化が望まれている。現在希ガスの真空紫外放射を利用するランプの開発が進行している。蛍光体の可視光へのエネルギー変換

効率は紫外放射の波長が長いほど高くなるため希ガスの中でキセノンが最も有利である。今回の展示では、参考出品ではあるがキセノン混合ガスを平面放電空間に封入し、背面ガラスに2本の誘電体で覆った電極を平行に配置して、全面ガラスと背面ガラスに蛍光体を塗布した構造のものが発表された。2電極間に数十キロヘルツの高周波パルス電圧を印加して、誘電体バリア放電と呼ばれる放電を発生させ点灯する。希ガス放電であるため発光特性が周囲温度に依存せず安定であり、電極を誘電体で覆っているため長寿命が期待できる。効率は30ルーメン/Wと現行蛍光ランプに比べかなり低い

セラミック

メタルハライドランプ

メタルハライドランプは優れた演色性を持つ高圧放電ランプであるが、最近の大きな技術動向として透光性セラミックを放光管としたセラミックメタルハライドランプの開発がある。従来の石英発光管と比べ、セラミックは耐化学性に優れているので封入しているハロゲン化金属との反応がわずかであり、高耐熱であるので発光管の温度を高くできる。これにより高効率、長寿命、高演色性が可能となり、寿命中の発光色の変化も少なくなる。しかし、発光管封着技

術が難しく、低W品が主流で中高W品の実現は困難とされていたが、今回の展示で400Wクラスまでラインアップされていた。封着技術の向上により、さらに高W化の方向へ進むと思われる。

LEDランプ

最近の化合物半導体エピタキシャル成長技術と発光素子プロセス技術の急速な進歩により、電気から光への変換効率の高いLEDが開発され、電光掲示板や信号機等の光源として実用化されている。しかし、照明用LEDランプの実用化には更なる技術革新が必要とされ、1998年から国家プロジェクト「高効率電光変換化合物半導体開発(21世紀のあたり)」プロジェクト」がスタートした。従来の白熱電球や蛍光ランプに代わりうる高効率で高輝度な白色光ランプの実用化を目指している。今回の展示では、効率は最高で15ルーメン/Wと、プロジェクト目標の120ルーメン/Wには程遠いが、LEDを複数個配列した照明器具が数多く提案されていた。素子単体が小さく、熱の発生が少ないことからコンパクトな器具が可能である。ランプの寿命は半導体接合部の温度に依存するが、数万〜10万時間が可能としている。21世紀のランプの本命として期待が高まっている。

北海道旅行

柴田 研司(平4年卒)

一年近く前になるが、妻の妊娠がわかったころ

「これからしばらくは夫婦二人だけでの旅行もできなくなるからどこかに行っておこう」と話し合っただけで北海道に旅行をした。今回の旅行は妻が妊娠中ということもあり3泊4日でホテルは富良野の一箇所のみ。移動距離の短い旅行にした。

二〇〇〇・4・31 天候 晴れ

10・30 羽田空港出発

12・00 旭川空港到着

春霞のせいか景色がすすんで見える。地面に積もった雪がそのまま残っている所はないが、除雪された雪や山の雪は残っている。空気が春とはいえず冷たく、コートを着てちょうどいいくらいである。

早速レンタカーの借り出し手続きをするため空港内のカウンターへ。送迎バスに乗りレンタカーの営業所へ行った。手続きを終えた後、空港そばの展望台に行ってみる。小高い丘で滑走路全体が見渡せる。滑走路の向こう側に見える山々には残雪があり、その広々とした景色に北海道に来たことを実感する。

景色を満喫した後、昼食のため旭川ラーメン村に行ってみた。旭川ラーメンの特徴はだしを魚でと

つてあることらしい。十数軒のラーメン屋さんがあったがその中で「なきうさぎ」という店に入ってみた。ラーメンは、塩・しょうゆ・みその三種類があり、私は塩妻のみそを注文。お互いに味見をしながら食べたが、どちらもあっさりしておいしいラーメンであった。

昼食後、とりあえずホテルにチェックインするため富良野へ移動。今夜から3日間の宿は新富良野プリンスホテルである。部屋は10階で窓からの眺めは抜群だ。

夕方から夜にかけてホテル敷地内にあるニングルテラスに行ってみた。20軒ほどのログハウスが森のなかに点在し、それらを遊歩道が結んでいる。ログハウスではそれぞれに個性的な手作りの品物を扱っている。そのうちの半分くらいを回ってみた。どれもぬくもりが感じられる品物であり、また自然の素材を使っている。森のなかではひとつもない。森のなかでの遊び方を教えてもらったと同時に人間も同じものはひとつとしてないということも教えてもらった気がした。

二〇〇〇・5・1 天候 曇り
本日は富良野を観光することにした。まずはチーズ工場。大理石のようなワイン入りチーズやトムとジェリーの世界ででてくるような穴あきチーズ等いろいろなチーズが

製造販売されている。試食があったのでしてみたのだが、とても濃い味でお酒によく合いそうであった。

次にむかったのは富良野ジャム園。色々な素材のジャムを製造販売している。いちごやりんごは当然のこと、こけももや山ぶどうから人参やスイカまで見たこともないジャムがたくさんあった。試食も可能で、色々な味のジャムを試してみることができた。私たちはその中でいちばんおいしいと思っただ白ぶどうのジャムをお土産にすることにした。

ジャム園の裏山は展望台になっていて、車で500mほど山道を登ると富良野の町を一望することができ。少し笑える解説つき案内板もあって、なかなか楽しい。

夕食は富良野のワイン城のレストランで食べることにした。ステーキもなかなか魅力的だったが、私たちはチーズフォンデュを食べることにした。ワイン城で製造されたワインとチーズの相性はばっちり。器として使っているフランスパンも食べることができて食べるとチーズがしみ込んでとてもおいしい。

ワイン城には本日は残念ながら行けなかったが、十分に満足したデイナーであった。

二〇〇〇・5・2 天候 晴れ
AM 9・00 昨日見学できなかったワイン城に向けて出発。富良野

ワインの歴史やその製造工程等を見学した。富良野ワイン城には飲み放題の試飲コーナーがあるのだが、残念ながら私は運転手だったため一滴も飲むことはできなかった。

見学を終え、十勝岳へ出発。ホテルの窓からの眺めもよいが、より近くでみるため十勝岳展望台に行ってみることにした。十勝岳展望台へ行くには白樺街道を十勝岳に向かってひたすら走る。その名のとおり道は白樺の森を貫くように続いている。車の正面に十勝岳を望みながら快適なドライブを楽しむことができた。だんだん標高が高くなると残雪の量も増えてきた。除雪していないところは50cmは積もっていた。十勝岳展望台まで行く雄大な十勝岳の姿を一望できるはず。……のだがその時にはちょうどガスがかかって頂上を望むことはできなかった。

少しその場で待つてみたのだがガスが晴れる様子もないので移動することにして、せっかくなので来たのだからと吹上温泉に行くことにした。ところが十勝岳展望台と吹上温泉とを結ぶ道路は積雪期間は通行止であることが判明。吹上温泉に行くには一度ふもとまで下らなくてはならない。しかし、そう急ぐ旅でもないで行ってみたいことにした。
約2時間ほどで吹上温泉に到

着。吹上温泉は無料の露天風呂だが200mほど山道を下らなくてはならない。気をつけながら雪の積もった山道を下り温泉にたどりつくると10人ほどの先客がいた。雪景色を眺めながらしばらく入浴。露天風呂を堪能した。

二〇〇〇・五・三 天候 曇りとときどき雨

本日は東京に帰る日である。飛行機の時間は午後6時半。時間的には十分に余裕がある。旭川に向かいながら観光することにした。

まずむかつたのは富田ファーム。ラベンダー園で有名な所である。この時期はラベンダーの花が咲いていないこともあって観光客は非常に少ない。ラベンダーの資料館やポプリの店などゆつくりとまわることができた。

次に深山峠に到着。簡単にいってしまえば峠のドライブインなのだが、そこからは十勝岳が一望でき、なかなかよい眺めである。また、目の錯覚を実感できるトリックアート美術館も併設されており十分に楽しめる場所になっている。特にトリックアート美術館はその壁面もトリックアートになっており、駐車場の地面にかかっているとおりに移動しながら壁面を見ると確かに不思議な感覚にとらわれる。ぜひご自分で体験して頂きたい。

ここでよい時間になったので旭川空港に向かった。

PM 6:30 旭川空港出発
PM 8:00 羽田空港到着

乱文で大変読みにくい部分もあったかと存じますが、最後までお付き合い頂き、大変ありがとうございます。今回の旅はあまり広い範囲は観光しませんでした。十分に満足できるものでした。約一年前のことで記憶の曖昧な部分もありますが、ほんの少しでも旅行を計画されている方の参考になれば幸いです。

四季

伊藤 篤(平元年卒)

今年の東北は本当に雪が多く寒かった。21世紀の元旦から雪をみない日は一日もない。もう溶けたと思っても、翌朝目が覚めれば一面真っ白だ。軒下にぶら下がる氷柱を見るのは、ずいぶんと久しぶり。仙台市内の我が家でも1メートル近くもある。ランドセルをよって家路を急いだ頃以来である。

先日も油断していたら、ドカ雪に見舞われた。京都もこの冬は大雪であったろうか。比叡山の頂きの白さを思い出す。

仙台に戻って、もう十数年が過ぎ去った。こちらでも、細々ではあるが同窓の方と活動する機会がある。テレビで京都の映像や話題が出る度に、4年間の青春時代を

思い出す。大阪の繁華街を夜、サングラス、短パンで歩けたのも若さの特権だった。

しばらくすれば、仙台でも桜の季節がやって来る。花の命は短いというが、京都ではまさにその言葉のとおりである。8年くらい前の春、奈良から京都へかけて、近鉄沿線を一週間旅行したことがある。奈良に到着した時は、「花見を狙って旅に来たが、開花前に帰ってしまうことになるなあ。」と多少がっかりしていたものの、2日後京都に到着した時は咲き始め、次の日は満開、その次の日はもう花吹雪となった。

たった1週間の間に花の盛衰を見た。花の命は短くてという言葉は、東北ではあまり実感できない言葉である。東北の花の季節は京都よりも遅く訪れ、そして長く続くものである。ようやく、この言葉の意味がわかったことがうれしかった。また、花吹雪の哲学の道をゆつくりと歩きたい。

今年の夏は暑いだろうか。去年は冷夏が予想されていたが、結果は十分暑かった。米も豊作であった。我が家から少し歩いていくと、一面田園風景が広がる。地下鉄沿線なのにそこだけポツカリ抜けたような風景だ。あぜ道に生えるペンペン草を子どもに摘んでやる。京都の夏は蝉の泣き声が賑やかだ。この声を聞くと余計に暑くなる。「シャワシャワシャワ...」

この泣き声は仙台では聞けないのでなお更だ。驚いたのは蝉が夜に鳴くことだ。今でもそうだろうか。キャンパスの木立の地面に多数の穴があいていたものだ。7年間の地中暮らしを終えて、新たな命を繋ぐために一斉にあけた穴だ。それを思うと愛しくなるが、暑いものは暑い。デカいゴキブリが空を飛ぶのも目撃した。ゴキブリが空を飛ぶとは不思議なものである。ゴキブリは夜飛ぶ。

京都の鴨川に相当するものとして、仙台には広瀬川がある。鴨川のように若い男女が毎日集うことはないが、仙台市民にとってはシボルである。かつて、地元歌手のヒット曲により全国的に有名になったことがある。私も入学した頃の頃、仙台出身と言う度に、「ああ、あの歌の」と言われたものだ。そんなに有名な曲だったのか。学生時代、テレビのない暮らしをしていた。当時、大河ドラマで独眼龍政宗が放映されており、高視聴率を挙げていたそうだが、私はこれを見ていない。大変おもしろいドラマだったらしく、未だに悔やまれる。今年には仙台開府400年ということで、地元仙台では、伊達政宗がまたまたクローズアップされている。仙台の初夏は緑が本当にきれいだ。櫻並木が芽吹くのが待ち遠しい。

学生時代、京都でよく訪れた場所が嵯峨野である。秋の嵯峨野は大変落ち着いている。嵐電に乗って、嵐山に向かい、渡月橋を見ながら、徐に嵯峨野を歩いていくのがお決まりだった。ところどころにある店も京都らしく、土産物屋といえはそれまでののだが、小綺麗で独特の雰囲気だ。竹林は今どうなっているだろう。京都も竹が少なくなっていると聞いているが心配だ。真冬に訪れたこともあった。雪降る中歩いていくと、凍えて口が動かなくなつた。暖をとろうと茶店に入った。奥へどうぞと店の方に言われたが、高そうなので、玄関口で抹茶だけをいただきたい。意外に穴場だったのが、清水寺境内の湯豆腐屋。安くて量が多く、何より旨かった。数年前崖崩れり下敷きになって店じまいしたのが残念である。

同窓会だより

洛友二六年会

カナダ旅行(Ⅱ)

平成12年9月8日〜16日
10日、天気はよくない。防寒服に身を固め、8時半マリーン湖に向けて出発する。

道端にエルク(ロッキーマンに最も多く生息する巨体哺乳動物)が2匹草を食っている。大きい。(バスは徐行)

宮崎さんの説明(以後説明という)「角が無いので雌、このエルクは多分体重380kgくらい、雄は角だけでも15kgある。エルクは外敵の居ない街によくやってくる。いろいろ邪魔を

するので、毎年100頭ほどを麻醉銃で眠らせ、森へ送り返している。」
天候は更に悪化、雪が降り出す。暫らくすると吹雪になった。

途中のメディスン湖で駐車。吹雪はおさまり、バスから降りる。

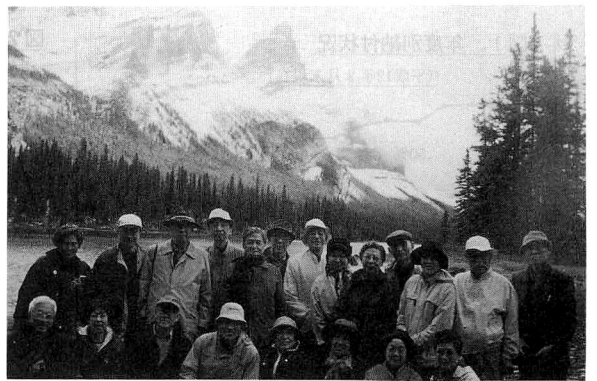
(説明)「この湖は不思議な湖で流入する川(マリーン湖からのマリーン川ほか)はあるが流出する川が無い。水位の季節変動は20m、夏は氷河の溶水で水位は高く、冬は底に少しあるだけ。(このことから先住民は魔法の湖と呼んで恐れていた)湖の水は底から数キロ地下水となって流れ出、マリーン峡谷とパークロジ前の湖の源流になる。因みにカナダは世界で一番真水の豊富な所(世界の真水の3分の1はカナダにある)水は何処でもおいしい。」

さらに10km上り、マリーン湖(標高1670m)に到着。雪がチラチラスする中、遊覧船に乗る。

遊覧船の操縦士はうら若い女性、ガイドはふとった女性、客は全員日本人(日本人観光客がいかに多いか、日本はカナダの大事なお客さん)で、ガイド間の協議で宮崎さんが説明する。カナダ人ガイドの出番はない。(説明)「川を堰きとめたような湖で、長さ22km、深さ94m、カナディア・ロッキーマ最大の湖で、氷河湖としては世界で2番目の大きさ」

小雪の中、船はけたたましい爆音を轟かせながら疾走する。暫くして雪は止み青空が出現する。

今まで雲に隠れていた周囲の山々が白い雪をかぶって忽然と現れ、壮絶さに息を呑む。湖はコバルトブルーに輝いている。10時50分、湖の中間点・スピリットアイランドの近くに停泊、数分間散策。スピリットアイランドを中央に配したマリーン湖



の風景は絵葉書、カレンダーになっている。ジャスパールを代表する風景らしい。

(説明)「湖名のマリーンは、"marine"でなく、仏語の"maignie"であり、"罪深い、有害な"の意味。開拓時代、神父が渓谷を渡ろうとして災難に遭ったが九死に一生を得た。狭い川でも流れは早く水量も多かった。こんな畜生!と思ったが神父としてはこんな言葉は使うべきでない。そこで"罪深き川"と命名した。その川の源の湖はマリーン湖と呼ばれるようになった。」

11時35分、バスは出発、途中マリーン渓谷で10分ほど散策する。晴れてきた。散策路の岩に貝の化石が見つけられる。言われて初めて分かる小さなものだ。

(説明)「この広大なロッキーマ大昔(6億年前・先カンブリア紀)は海底だった。証拠がこの小さい化石だし、そそり立つ峰々にはつきり見え

る地層です。アルバータ州の花はワイルドローズ、既に時期は終わり、赤い実だけが残っていた。州の樹はダグラス・ファー(樅の類、カナダ西部の代表的な高木)、州の動物はビッグホーン羊、1330m以下の山岳地帯にはアスペン・ポプラ、2100mまでの亜高山地帯には黒松、エンゲルマン松、ロジポール松、2100mを森林限界と呼び、樹木はなく高山植物の類が生えているだけ」雪の岩山、濃緑の針葉樹が澄んだ青空に映えて美しい。

ジャスパール駅前通りの日本食堂「伝兵衛」で昼食、小さいがきれいな街を散策の後ホテルに帰った。18時まで自由時間。

ゴルフ一組、乗馬は若手の滝波、徳永両夫妻と笹岡、石川両夫妻の8人、後の人は美しいポーベル湖畔を散策、ホテルの売店でショッピング。19時半〜22時夕食。男性組、女性組に席を組み替え、湖の夜景を見ながらすっかり気心も分かった仲間、話もアルコールド大いに進みます。

11日、いよいよカナディアン・ロッキーマ本番、天気は上々、パンフまで300kmのバスツアー。

7時半朝食、8時半出発。ルート93(アイスフィールド・パークウェイ)を南下パンフへ向かう。ルートの両側はすべてカナディアン・ロッキーマ(アラスカからメキシコまで続く)、3500m級の峰々がひしめき合っている。

最初に見えるエディス・キャベル山(3367m)が朝日に輝いている。

このルートは、1500〜2000mの高地を走り、殆どカーブも起伏も無く電線は道路の下に埋められている。続々と現れてくる素晴らし

い峰々を眺めながら、バスは快適に飛ばして行く。アサバスカ滝に立ち寄る。パーク・ロジ・ホテルの近くを流れているアサバスカ川の途中で滝になっているところ。水量多く、爆音を轟かせている。

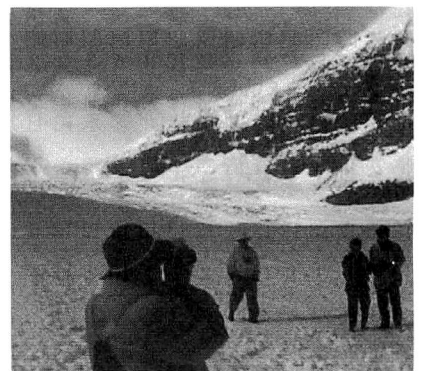
いよいよ今日のメイン、アサバスカ氷河に向かう。(説明)

「前方1時の方向に見える山がスノードーム山(3460m)、世界で2つ(一つはシベリア)しかない三角分水嶺です。北はアサバスカ川からマッケンジー川となつて北極海に、南はコロンビア川で米国の太平洋に、東は大西洋、ハドソン湾に注ぎます。」

10時15分、コロンビア・アイスフィールドセンター(標高1984m)へ到着。(説明)「コロンビア大氷原は目の前に見えるアサバスカ氷河の奥にあり、平均標高3千m、面積は名古屋市ぐらい、数万年かけて地球が削り出した神秘の世界で一般の観光客が目にする事は出来ない。この大氷原から4つの氷河が流れ落ち、これから行くアサバスカ氷河はその一つである。幅1km、長さ6km。」

広い駐車場は観光バス、乗用車で一杯。ここから専用バスに乗り換え、氷河入口へ、ここで更に雪上車に乗る。雪上車のタイヤは直径150cm、幅100cm、12個ついて、定員50名。昔のキャタピラ式の小さな雪上車が展示してあった。

雪上車は次から次へと発車し列を成して進む。通る所は氷河の荒々しさはなく、傾斜の緩やかな障害物無しスキー場のようなものだ。数百m走って少し急勾配になる手前で停車、(標高2200m)車外に出る。晴天のお陰でそれほど寒くない。氷河の最上部は巨大な氷の滝が牙



を削いている。風が強く、遮る物の無い氷河の上、段々寒くなる。記念写真を撮って早々に雪上車へ、帰路に就く。徒歩で氷河を上って行く人を見る。雪上車の範囲は危険は無いが、それから上は何処にクレバスがあるか分からない、非常に危険だそう。

センター食堂は超満員、バイキング方式。13時半、センター発、ロッキーマの峰々を左右に見ながらアイスフィールド・パークウェイをパンフに向かって南下する。境界は分からないがもうパンフ国立公園に入っただろう。

14時15分、トルコブルーに輝くペイトレイク着。湖岸に近づけず、展望台から見る。

14時40分、ボウ(弓)レイク。湖岸までバスで行ける。4つの湖の中で最も素朴な湖である。素朴なりに観光客少なく、味はある。

15時30分、レイクリーズ。最も派手な湖。絵葉書、カレンダーに必ず採用されている。湖の向こうのピクトリア山(3464m)、ピクトリア氷河との調和、眺めもよいがシャトー・レイクリーズという立派なホテルが湖畔にあり、観光客で賑

わっている。ここでは30分の散策。
 (説明)「カナディアン・ロック」の宝石とうたわれ、1880年、山岳ガイド、トム・ウィルソンによって発見された当時はその湖面の色からエメラルドレイクと呼ばれていたが、もう一つの同名のエメラルド・レイクがあり、紛らわしい事もありピクトリア女王の娘の名に因んでレイクリーズと名付けられた。」

16時30分、モレインレイク。この湖だけハイウェイからの別れ道に入る。南側の岸壁の堆積が堤防になって出来た湖であり、水河のモレインではないとの事。針葉樹林に囲まれて輝く湖面とその背後にそびえる10の切り立った峰、テン・ピークスの姿は20年間20カナダドルの裏面を飾っていた。

今日訪れた湖は4つ共エメラルドグリーンの水河湖であり、湖畔の針葉樹林の濃緑、白雪の岩峰、背後の青空と美しいコントラストを醸し出していた。

今日は300kmの道程、観光スポットも多く、バンフの町外れのリムロック・ホテルに着いたのは18時を回っていた。このホテルは9階建てで、景色が見れるように崖の斜面に建てており、玄関は7階にある。

遅くなるのを見越しての予約、20時30分夕食、我々グループ専用の一室用意されていた。

遅い食事、ワインの勢いも借りて食も進み、話が弾む。22時、宮崎さんが挨拶にきた。丁度便があるので、これからジャスパールに帰るとの事。彼女の知識と素晴らしいガイド振りに感謝！そしてそのバイタリティーに脱帽。お元気で頑張ってください。(次号に続く)

石川 進 (昭26年卒) 記

事務局だより

平成12年度会費納付状況報告

平成12年度も年度末を迎え、会計事務も決算期となり、例年どおり年会費の納付状況についてご報告を申し上げます。なお、ご協力をお願いいたします。

まず、平成13年2月末日現在の

会員数(A)は6385名で、平成12年4月から平成13年2月末日までに会費を納めて頂いた会員数(B)は2765名でした。

前年同期と較べると、会員数は81名の増加となっておりますが、会費を納めて下さった会員数は逆に96名の減少となりました。

納付率(B/A×100)は45.3%となり、図1に納付状況の推移グラフを示しましたが、昨年と較べて2%低下し、過去最低の水準となり、平成8年度以降は50%を下回っております。

また、図2には卒業年次別の納付率を示しますが、昭和26年〜35年の78%を最高に以後急激に低下し、昭和50年以降は30%を切り、これが全体の納付率の低下に大きく影響を与える結果となっております。

納付率の向上に関しては本部役員会・幹事会などにおいて、各種

提案がありますが、結局のところ会員各位のご理解とご協力が何よりだと願っております。

平成12年度には、納付率向上の策として、一部支部より支部別・会社別に管理が可能なように、会員管理原簿のプログラムを一部変更し、活用して頂いています。

また、本年は各支部からのご要望で支部別の納付状況も集計いたしました。別表のような結果となっております。ご参考までに掲載いたしました。

本部総会のお知らせ

平成13年度、洛友会本部総会は左記のとおり行ないますので、会員の皆様方の多数のご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成13年6月16日(土)
 午後3時30分より

場所 東京目黒・八芳園

なお、当日は東京支部総会が開催され、終了後に本部総会に移る予定です。東京支部会員の皆様には、別途幹事の方よりご案内があります。

支部総会のお知らせ

各地区の平成13年度支部総会は次の日程で開催が予定されています。開催場所・開催時間などの詳細は各支部幹事の方よりご案内があります。ふるってご出席下さい。

- 4月7日(土) 北陸支部
- 5月11日(金) 九州支部
- 5月18日(金) 中国支部

- 5月25日(金) 四国支部
- 6月16日(土) 東京支部
- 6月23日(土) 関西支部
- 6月30日(土) 中部支部

各支部総会で役員・幹事の交替があれば、事務局までご一報下さい。

編集後記

京都では遅咲きの桜も散り、若葉が眩しく輝いています。今春卒業された新会員の皆様には心よりお祝い申し上げます。先輩諸氏とともに今後のご活躍をお祈りいたします。

新年度を迎え心新たに充実した紙面にと願っております。

◎本年秋に会員名簿の改訂版を発行いたします。会員で異動事項のある方は事務局まで一報を!!

訃報

講大13	鹿城	栄治(昭)	60
講昭2	夏目	正三	5
講昭2	塩田	善六	11
講昭2	河本	勝寿	12
昭6	伊藤	俊夫	12
昭10	殿井	不二雄	10
昭12	湯浅	幸雄	2
昭16	平田	幸造	2
昭17	西本	清一	11
昭17	玉井	義男	12
昭17	鶴岡	重孝	12
昭26	師尾	守泰	1
昭27	松尾	安弘	1
昭31	田中	勝嗣	1